

## 情報学概論2 第4回 (5/10)

---

(Introduction to Informatics 2)

### ファイル 種類 拡張子

---

#### 1 PDFファイル

---

##### a. PDF の概要と歴史

- PostScript言語からスタートした (こういう[解説的なページ](#)もある)
  - PostScript は、[逆ポーランド記法](#)のプログラミング言語 (でもある) の代表格 (参考資料としてネット上の[演習の文書](#)も見てみる)。
  - 現在のPDFにもその痕跡は残っているようだ。
  - 対抗するコンソーシアム主導の規格として [XPS](#) がある。

##### b. PDF を作る

- Typoraの中から
  - (ファイルメニュー) エクスポート
  - (内部で pandoc を (うまく) 使っているようだ。)
- Pandocを直接使う
  - [前々回資料](#)も参照

## 1. コマンドプロンプト起動

- (何度かお伝えしているが) ソースファイルを置いた場所で開くこと。

## 2. pandocコマンドを動かしてみる

```
> | pandoc ソースファイル名
```

## 3. 出力ファイル (と形式) を指定する

- リダイレクト記号 > で出力先指定できることは伝えたが、
- -o オプション で指定することで出力先の形式も同時に指定できるのでこちらがオススメ。

## 4. Pandoc は PDF生成部分には外部エンジンを借用するため、その外部エンジンを用意してあげる必要あり。

- windows では wkhtmltopdf が手軽そう (まずこれをインストールしておこう)

```
> | pandoc ソースファイル名 -o 出力先.pdf --pdf-engine=wkhtmltopdf
```

## c. PDF を開く (プレビュー(?))

## d. PDF (の中) を眺めてみる

## e. 拡張子が違ったら (または、ついていなければ)

- 上記の知識があれば推測可能

- アプリケーションでの推測
  - ポピュラーなのは [WinExChange](#)。
- 推測してくれるサイト
  - たとえばここ [ファイル形式診断ツール](#)
  - こういったサイトの信頼性は不明なので、重要なデータには使用しない方がいい)
- 拡張子のつけはずし の方法
- 関連づけされたアプリケーション、とそれ以外のアプリケーション (について おさらい)

## 2 DOCXファイル

---

### a. 作成

- typora のメニューから
- pandoc で

### b. DOCX の実態

- (PDFと同様に) 眺めてみる
  - よくわからないね
  - 実は…

### c. テンプレートの活用 (pandocの小技)

#### 1. テンプレートを作成

```
> | pandoc --print-default-data-file reference.docx > reference.docx
```

## 2. word（など）でそのスタイルを編集

> | `reference.docx`

- GUI的に開いても勿論かまわないが、ここから開くほうが手っ取り早いだろう

## 3. テンプレートを使用

> | `pandoc ソースファイル -o 出力先.docx --reference-doc reference.docx`

- オプション `-reference-doc` は、バージョンによる変化があったらしい。
- 所定の場所に置いてデフォルトの（DOCX生成時の）テンプレートにすることもできる。